

株式会社 JVCケンウッド

2017年12月19日

デジタル無線規格「DMR」に対応した無線システム事業の拡大に向けた イタリアの Radio Activity 社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

株式会社 JVCケンウッドは、デジタル無線の国際規格である「DMR（Digital Mobile Radio）」に対応した業務用無線事業の拡大をはかるため、「DMR」に対応した中継器などの開発・販売を手がけるイタリアの Radio Activity S.r.l.（以下、Radio Activity 社）が発行する全株式を取得し、同社を完全子会社とすることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式取得の理由

当社の主力事業の一つとなる無線システム事業は、世界各国の警察・消防・救急などのパブリックセーフティ市場や、電気・水道・ガスなどのパブリックサービス市場、およびホテル・小売業などの民間市場に信頼性の高い業務用無線システムを供給しています。

このような中で当社は、今後の市場規模の継続拡大が見込まれる北米のパブリックセーフティ市場を中心に、米国無線システム子会社との連携を強化し、北米向けデジタル無線規格「P25」に対応した業務用無線トータルソリューション事業を推進しています。また、デジタル無線規格「NXDN™」に対応した業務用デジタル無線システム「NEXEDGE®」を世界各国に展開し、パブリックサービス市場を始めとする幅広いユーザーの課題を解決するデジタル無線ソリューションを提供しています。

一方で、アナログ方式からデジタル方式への切り替えが最も遅れていた民間市場においても、デジタル化が急速に進展しており、特に低コストで小規模なシステム構築が可能なデジタル無線の国際規格である「DMR」に対応した業務用デジタル無線システムへの需要が高まっています。このような環境の下、当社としても「DMR」に対応した無線システムソリューションのラインアップ強化が急務となっています。

このたび当社は、今後の「DMR」対応無線システムソリューションの拡大に向けて、「DMR」システムに対応した中継器などの開発・販売を手がけるイタリアの Radio Activity 社が発行する全株式を取得し、同社を完全子会社とすることを決定いたしました。Radio Activity 社は、特にサイマルキャスト※対応についてはアナログ規格の時代から培った技術力とノウハウを有しており、同社の子会社化によって、高機能と信頼性を兼ね備えた「DMR」対応無線システムソリューションの提供が可能となります。

今後は、パブリックセーフティ市場やパブリックサービス市場、民間市場など市場ごとのニーズに最適なデジタル無線ソリューションを提供することで、今後も世界規模で拡大が見込まれるデジタル無線事業の推進をはかります。

※同じ電波を複数の通信エリアで同時配信すること。送信時には同一周波数を使い、各通信エリアで同時送信するため、1波の免許で広範囲のエリアをカバーする無線システムが構築できます。

2. Radio Activity 社の概要

社名 : Radio Activity S.r.l.
所在地 : イタリア ミラノ
代表者 : CEO Roberto Marengon
設立 : 2003 年 12 月
事業内容 : 業務用無線機器の開発、販売

3. 今後の見通し

当社は、平成 30 年 1 月を目処に Radio Activity 社の全株式を取得する予定ですが、本件にともなう当社業績への影響は軽微であると見込んでいます。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL: 045-444-5232 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3 丁目 12 番地

本資料の内容は報道発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com